

2014年世界選手権レポート (2)

オランダ・アムステルダム



写真1. リギングをする選手たち

8月18日

リギング

朝8時にホテルを出発し、8時半ごろからリギングを開始しました。LM4-のリガーが輸送の手違いで届いておらず、今日はドイツチームのスペアリガーが届く10時まで待ち、そのリガーを使ってリギングしました。11時半のバスの時間ギリギリまでリギングとその後の確認を行ない午前の練習を終了しました。



写真2. トレーラーから艇を下ろす
今井選手と西村選手（ともにNTT
東日本）

午後からも一部の艇でリギングを修正し、約1時間半程度のトレーニングを行いました。コースは激しい雨と晴れを繰り返す激しい天気で、風も強くコンディションも決していいものではありませんでしたが、リギングは順調に終わりました。

コースには、アメリカ、中国、ニュージーランド、リトアニア、アルゼンチン、それと、同じ宿舎のギリシャチームも浮かんでいました。世界のトップクルーの加速の早さとオープン選手の大きさや力強さが目につきました。

日本チームも上手に艇を運び、リギングがうまく行ったことを印象づけてくれました。体の怠さも少しずつ薄れてきており、あと数日で時差ボケも問題ない程度にまで解消できると思います。



写真 3. リギングを終え艇を運ぶ末廣選手（デンソー）と若井選手（ミキハウス）



写真 4. LW1x 上田選手（明治安田生命）



写真 5. LW2x 末廣選手（デンソー）、若井選手（ミキハウス）